

「当報告の内容は著者の著作物です。」

アジア・アフリカ言語文化研究所
教授 中見 立夫

タイトル：チミッドドルジ客員教授特別講演会

日時：平成 23 年 5 月 2 日（月曜日）午後 2 時 30 分より午後 6 時

場所：AA 研 303 号室

発表者（所属）：チミッドドルジ（内モンゴル大学教授/AA 研客員教授）

発表タイトル：「康熙四十八年のモンゴル文による皇太子を再立する詔について」

概要

外国人客員として来所中の、チミッドドルジ教授により、「康熙四十八年のモンゴル文による皇太子を再立する詔について」と題する講演が、モンゴル語によりおこなわれた。清朝においては、皇太子の擁立は制度化されたものではなかった。康熙帝は一度、擁立した皇太子を廃し、さらに再度、皇太子の座に就けている。講演では、最近、内モンゴル大学がモンゴル国より入手した、康熙四十八年付の、康熙帝が皇太子を再立するために発した、モンゴル文詔勅を検討した。再立へと至る経緯、詔の内容と真贋問題、そして誰に宛て、モンゴル語の詔が発せられたか等、きわめて刺激的な内容であり、活発な質疑応答があった。参加者 24 名。